

オミクロン株 重症化しにくい?

新型コロナウイルスのオミクロン株は入院リスクが低いとする報告が海外から出ていた。感染歴のある人やワクチン接種済みの人、重症化しにくくなっているとの見方もあるが、最新の複数の研究から、ウイルスの特徴の変化が関わっている可能性が浮かび上がってきた。

国内の研究グループ「G2 P-Japan」は28日、ハムスターでの研究結果を、専門家の査読前の論文として公表した。

感染の影響として「体重変

香港大「ウイルス量少ない」

英「入院リスク5分の2」

化」と題するが、「デルタ株に感染させた場合よりも約15%減った。オミクロン株に感染させた場合は変化がみられなかった。詳しく調べると、デルタ株の場合は、ハムスターの肺の細胞の広い範囲に感染が確認された。オミクロン株ではまばらだった。

北海道大学教授は、「肺の中での感染の広がり方が明らかに異なる」と指摘する。

実際にヒトではどうな

・北海道大学教授は、「肺の中での感染の広がり方が明らかに異なる」と指摘する。

か。香港大の研究者が大学ウェブサイトに発表した報告では、新型コロナをヒトの肺組織に感染させて24時間後のウイルス量が、従来株に比べてオミクロン株のほうが少なかった。

専門家、感染拡大で「帳消し」指摘

ある。過去に新型コロナに感染した人やワクチン接種済みの人には新型コロナに対する免疫がある。このため重症化しにくい原因が、免疫によるものなのか、病原性の変化によるのか、区別は難しい。

英國健康安全保障庁が23日公表した分析では、オミクロン株の感染者はデルタ株の感染者と比べて、入院リスクが約5分の2に減っていた。た

だ、分析できた人数がまだ少

なく「初期の分析」という位

置つけだ。

28日に更新された厚生労働省の「診療の手引き」でも、

オミクロン株の重症度は「明

らかになっていない」とされ

ていて。

重症化率が低くとも、感染が広がれば、大きな影響が出るおそれがある。G2P-Japanの論文でも、「世界

的に健康へのリスクが低いと

結論づけるには早すぎる」と

する。

慶應義塾大の堀賢教授（感染

制御学）は「重症化率が板に半

分になつても感染者が2倍に

なれば帳消しになる。感染が

広がることには引き続き警戒

すべきだ」と指摘。「改めて

マスク着用や換気、3密の回

避といった対策をより徹底し

てほしい」と話す。（野口聰太）